

令和4年度第2回地域福祉推進委員会会議録

日 時	令和4年(2022年)8月30日(金)午前10時00分～午前11時20分
場 所	8階大会議室
参加者	<p>委 員 : 加藤委員長、岡野委員、羽野委員、奥西委員、光田委員、武藤委員、桶屋委員、栢木委員、本城委員、海老名委員、萩原委員、俣委員、原田委員、山上委員、西村委員、藤田委員</p> <p>(欠席委員: 迫委員、末次委員、黒川委員、山本委員、牧野委員、濱田委員、土井委員)</p> <p>事務局 : 福井福祉子ども部長、星川健康長寿部長、柏木福祉子ども部副部長、河田地域福祉課長、鶴谷地域援護係長、信楽主事、島崎事務局長、土田事務局次長(社協)</p> <p>傍聴者 : 1名</p>
委員長	<p>◆次第1 開会</p> <p><各委員が座席表のとおり着席していることを確認></p> <p>皆さんおはようございます。</p> <p>これまで熱心に、地域福祉推進に関しまして、熱心にご議論いただきありがとうございました。本日はお忙し中、ご出席いただきましたことを、御礼申し上げます。</p> <p>それでは、会議の次第に沿いまして、進行を務めさせていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>◆次第2 地域福祉計画の進捗管理方法の変更について</p> <p>お手元の次第2「地域福祉計画の進捗管理の変更について」を、事務局から説明をお願いします。</p> <p><資料1 に沿って説明></p> <p><事務局 挙手></p>
委員長	はい。それでは補足をお願いいたします。
事務局	<p>はい。少し補足をさせていただきます。</p> <p>今回お示ししています、「5つの柱」につきましては、第3期の宇治市地域福祉計画の冊子の44ページから記載されておきまして、その分類に従いまして、数値化した資料になります。前回、第1回の委員会におきまして、評価の仕方について、<推進のめやす>に記載させていただいておりましたが、それでは分かりにくいということもございましたので、目標値をお示しさせていただきましたのが、この資料です。</p>

	<p>この資料の目標値の欄で、基本的には数値を入れておりますが、一部数値が入っておらず、「※」が入っている部分があります。これは単に増えた方がよい、減った方がよいというものではないと思われるものでして、事業の有効性や必要性をしっかりと評価していくためには、毎年しっかり抑えていく必要があるものについて「※」で表しております。資料については以上になります。よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは進捗管理の方法の変更につきまして、5つの柱をベースに「実績」の推移、目標値について説明をいただきました。</p> <p>それでは委員より、本当に自由に、只今の説明につきまして、ご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p><委員、挙手></p>
委員	<p>はい。どうぞ。</p> <p>今回ご提案のあった「地域福祉推進プログラム「5つの柱」の実施指標（案）」ということで、メールで事前にいただきました。それに対して私の考え方をその日のうちに送らせていただいたかと思っております。今日は皆さんにはお配りされていないようなので、かなりの項目になるので、全部はもちろん説明しませんが、私の考え方だけ皆さんにお話をさせていただいて、議論の参考にしていただければと思います。</p> <p>ひとつは、いわゆる成果指標ということで、施策の点検・評価をしていく際に、こういう具体的な目標値を設定して、実施するということは、市民との情報共有という意味で非常に分かりやすいものでもあるし、評価をするということの指標でもあるので、一歩前進かなと考えております。</p> <p>ただ、今回見せていただいた、目標値ないし指標が、アウトプット指標になっています。評価をする場合、アウトカム指標という「実際に地域福祉の推進にどの程度役になったのか」ということを評価する指標です。（今回のものは）そういう指標ではないので、まだ十分とは言い切れないというのが私の印象です。</p> <p>その中でも、相談件数などを目標値に掲げておられますが、例えば「生活困窮者自立支援にかかる相談件数」や、「女性のためのDVの相談件数」などですね。私の感覚からいうと、こういう相談件数を目標値にするのはどうかなと思います。というのは、相談件数が増えればいいというものでもないし、逆に減ればいいというものでもないし。相談件数というのはあくまでもニーズがあるということで、それが多か少なかによって、施策が推進されているかという指標にはならないと私は思います。そういった指標を成果指標に掲げられることについては、疑問を感じております。</p> <p>それから、もう一点申し上げたいのは、ここ数年コロナが感染拡大して、実績を見ていただいたら分かるように、数値が非常に大きく増減しています。新型コロナウイルスのような、そういう非常事態がいつ起こるのかは予測できませんが、非常事態が生じた場合には、目標値を掲げていても、実態と非常にかげ離れてしまうケースがあるので、そういう意味からすると目標値のそのものの有効性についても疑問符がつくというケースがあるので、そういう事態になったら、その段階で改めて</p>

<p>委員長</p>	<p>考えなおすという方法もあると思いますが、ひとつの考え方として疑問に感じる部分もありますので、そういったところもどう考えるのか、今からでも考えておく必要があるのかなと思います。</p> <p>地域福祉推進のプログラムの5つの柱について、私自身も疑問もありますし、一歩前進だとは思いますが、まだまだ不十分な部分もあるなというのが率直な感想です。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>はい。ありがとうございました。関連でもよろしいですし、いかがでしょうか。</p> <p><委員、挙手></p>
<p>委員</p>	<p>3ページの5の柱の項目の目標値についてです。</p> <p>直接私どもが関わっております、3のひきこもり相談件数・人数です。一生懸命やっておりますが、R3年度(2021年度)は、相談件数/相談人数が「131件/59人」で、R7年度(2025年度)が、「180件/90人」と数値として挙げられると、できるかなという気持ちがあったり、もし達成しなかったりした場合はどうなるのか、少し不安はあります。どういう考え方のもてこういう数値が出来てきたのか、例えば毎年何件ずつ増えて、R7年度(2025年度)にはこうなったよ、とか。この数値の出た背景を教えていただければと思います。</p> <p>それともう一つ、「1 生活困窮者にかかる自立支援」のところで、コロナ禍だったので、それぞれ件数が増えていて、R7年度(2025年度)はコロナが終息しているだろうという見通しのもと、R3年度(2021年度)よりすごく目標値が下がっているのか、その辺の説明も聞かせていただけたらありがたいです。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ただいまお二人の委員から、ご意見、ご質問をいただきました。事務局いかがでしょうか。</p> <p><事務局 挙手></p> <p>はい。お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。まず、成果指標の相談件数/相談人数は、目標値になじまないのではないかというご意見でございました。おっしゃる通り、相談が単に増えたからいいとか、悪いかだけではなく、その数値に至った状況をしっかり分析することが大事なことでと考えております。</p> <p>「1 生活困窮者に係る自立支援」の項目については、私ども地域福祉課が所管ですが、相談件数、支給者数、支援者数など、数値を入れた形でいまお示ししております。一番上の相談件数は実はそういった意味合いがありまして、あまり目標としては動かない部分もありますが、今回この数値は、みなしとして見ていただいて、この数値よりも超えたからどうか、減ったからどうかということよりも、この数値を大きく乖離したときに、何か想定外のことが起こっているかもしれないということを総合的にしっかり抑えることが必要だろうと思います。</p> <p>それからもう一つ、DV相談につきましては、相談件数ではありますが、これにつ</p>

	<p>いては、かなり潜在的な相談が必要な方がおられるような内容になっておりますので、まずは周知をして、安心して相談できるということで、相談者をしっかり動かしていくということが必要だろうと考えております。</p> <p>それから「目標値」という形で記載しておりますが、これは達成値ということではないのですが、その数値に向けて、どう工夫していくことで件数が伸ばせるのか、ということ意識しながら活動していくという、そういう面もありまして。予測値ということも含めまして、割合を考慮した形で数値を置かせていただきました。</p> <p>コロナ禍の終息を見越した生活困窮者の数値なのかということについてはいかがですか。</p> <p>コロナの影響についてですが、R7年度(2025年度)の数値は、基本的にコロナが終息したことを想定して置いています。</p> <p>「H29年度(2017年度)」と「R3年度(2021年度)」の数値をセットした形で置いています。「R3年度(2021年度)」は、コロナの影響をすごく受けた数値になっております。コロナの影響を受ける以前の数値で、比較するように置いています。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p><事務局 挙手></p>
<p>事務局</p>	<p>補足で説明させていただきます。</p> <p>3 ページの「1 生活困窮者に係る自立支援」の「相談件数」についてですが、H29年度(2017年度)が 695 件、R3 年度(2021 年度)が 1,172 件となっていて、飛び抜けて多くなっているのは、新型コロナウイルスの対策事業の一環として、社会福祉協議会で行われている生活困窮者の貸付事業があります。この事業は、相談をしないと貸付を受けられないという条件付けもありましたので、爆発的に増えたという経過がございますので、補足説明させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p><委員、挙手></p> <p>いまの説明を受けて感じたのは、「目標値」という言い方ですが、「めやすとして考えてください。」ということでしたよね。「目標値」というと、「R7 年度(2025 年度)までには、ここまで行くのだ。」というような行政としての目標ということになってしまうので、「いや、そうではないのですよ。あくまでもめやすとして数値を置いているだけです。ひきこもりについては、目標ではありません。」というようなことをおっしゃったので、それであれば、「目標値」という言い方を、例えば「めやす値」なのか、もっと適切な表現なのかわかりませんが、指標として使うのに、いわゆる目標として使うのではないというニュアンスの表現にした方がよいのではないかと私は、思います。</p>

委員長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p><委員、挙手></p>
委員	<p>今回の5つの柱の実施指標に対して、以前から「評価」という文言を使われていたと思いますが、「評価」という言葉はそぐわないのではないかと思います。本来行政評価というものにつきましては、事業の取捨選択であったり、評価結果を「縮小する」とか、「廃止する」とか、「拡大する」というような事業の行方を示すようなものになりますので、ここに示されているものについては「目標値」に対しての進行管理に対しての実績が記されたものであって、その達成具合をランクづけされているので、評価という表現ではなしに、達成度として、それが低い場合には、「どのように目標値に達成すべきなのか」ということで、いろんなコメントが出てくるかと思いますが、そういう表現にしてはどうかというのがひとつです。</p> <p>それから、5つの柱の成果指標を案として示していただいたのですが、成果指標の数のバランスをとっていく必要はないのではないかと思います。</p> <p>結果的に過去との比較がなじまないものも出てくるかとは思いますが、5つの柱につきましては、それぞれが個性的なものであって、具体性や話題性などそれぞれに内容が違っているために、指標の数にメリハリがあってもよいのではないかと考えております。</p> <p>細かい話ですが、4つ目柱のところに、指標名に、ヤングケアラーの記載を試みてはどうかと思っております。</p> <p>いま社会的に問題になっていることでもありますので、いくつかの指標を束ねて記載するとか、何か工夫して掲載できないものかなと考えております。</p> <p>それから、プログラム5つ目のところです。情報提供のことが書かれていますが、「人にやさしいデジタル化」に関連するような指標を作ったらどうかと思います。例えば広報掲載事項の数です。数だけでどう判断するのかという議論も出てくるかとは思いますが、そういう内容の掲載が広報に何件載ったかということ、目標値を決めて達成具合を考えるということを示してもおもしろいのではないかと思います。以上です。</p> <p><委員、挙手></p>
委員	<p>まず資料についてですが、私は元号を使いませんので、西暦と元号を出来たら、両方記載してはどうかと思います。</p> <p>以前は3段階評価で、5段階評価へと変わってきて、原課の事業を具体的にきめ細かくみていくということでしたが、それから比べるとあまりにも簡素化されている。生活支援にしても、細かく原課が担当している。いちいち説明してもらわないと、あまりにも簡単にまとめすぎて、質問するときでもどこの課がどういう形でやってきたのかということが分からなくなってしまうということがあると思います。もう少し資料の中で事細かく、この問題については、どこの課がどういう関わっているかということが出てきたら、例えば子どもの部分での不登校とか、ひきこもり、いじめなどであれば、学校教育が関わっている部分、福祉が関わっている部分があると思いますが、この表では分かりにくい。これを論議してくれと言っても、今までの地域福祉の、私も地域福祉のことには最初から</p>

	<p>関わっています。前の資料はものすごく分厚くて、読みにくいということがあるので、簡素化したのですが、あまりにも簡素化しすぎて。もう少し工夫してもらったと思います。</p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p><委員、挙手></p>
委員	<p>私も認識不足ですが、従前から、きめ細かく推進のめやすで、評価されていたと思います。その時には目標値というのはなかったと思うのですが、市の方では、原課の方ですべて評価されていたと思います。今回5つの柱で指標があって、例えば「1 安全・安心に暮らせるまちづくり」では、7つの指標が出されていますが、この指標と、<推進のめやす>との関わりがどうなってくるのか。(資料1を指して)これだけで、<推進のめやす>は無くなるというわけではないとは思いますが、その辺りの考えとか関わりがどうなっていくのかをいうことを教えていただきたいです。</p>
委員長	<p>はい。</p> <p><委員 挙手></p>
委員長	<p>関連しますか。</p> <p>はい。どうぞ。</p>
委員	<p>先ほどの委員のご意見に私もすごく健全だなと思いました。</p> <p>目標という言葉はひとり歩きしますし、目標を立てるのであれば、それぞれ関係している団体なり機関が積み上げて出された数値を、どれくらい到達したのかという感じで表記するのが筋であって、プロセスは分からないですが、行政でこの数値をとっていくのはどうかなと思います。</p> <p>やはり地域福祉という分野は、ボランティアズムで、自発性に基づくところが非常に大きい部分を占めますので、それを目標という形でおくことについて、少し検討の余地があるのではないかと話を伺って思います。</p> <p>それと元号の問題ですが、私も元号を使うことを否定しませんが、ものを考えるのに時代でぶつ切りになってしまうのです。「平成」「令和」とか。一貫性を物事を考えていこうとすると、西暦は入れてほしいと思います。以上です。</p>
委員長	<p>はい。ただいままでの議論で、事務局から何かありますか。</p> <p>お願いします。</p>
事務局	<p>たくさんご意見いただきましてありがとうございます。</p> <p>今回お示した指標の資料につきまして、かなり簡単すぎてしまって、中身が分かりにくい部分が出ているというご指摘がありました。</p> <p>前は<推進のめやす>という項目を使って評価を行っていましたが、かなり分かりにくかったというご意見もございました。</p>

	<p>シンプルに簡単に出来ないかということで、まずは数値として挙げられる、できる取り組みについてピックアップして、それを柱ごとにお示しすることによって、方向性が見せられないかということで考えました。</p> <p>これまでの<推進のめやす>については、総合計画でも、分かりやすく記載するようにということで整理されていますので、<推進のめやす>を併用するのか、違う形で補足するような形にするのか、その点について検討させていただけたらと考えております。出来る限り分かりやすく使っていけるようなものにしていかなければと考えております。</p> <p>元号と西暦の記載部分についても、併記するような形でさせていただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>「PFO 評価」という言葉があります。</p> <p>「P」は「program (プログラム)」、「F」は「fidelity (フィデリティ)」、「O」は「outcome (アウトカム)」です。</p> <p>例えば「人権研修を計画した」とします。</p> <p>「計画どおりやったかどうか」は、これは P 評価、プログラム評価になります。</p> <p>その研修に「どれくらいの人に参加して、どれくらい参加率があったのか」そういうしっかりと取り組んだかどうかは、F 評価、フィデリティ評価になります。</p> <p>そして最後に、「人権研修はやったけれども、ただ参加者が来てくれたというだけで、考えた効果がなかった。」というアウトカム評価。</p> <p>数値をどう分析するのかというあたりが非常に大事になってきます。「どういう部署がどう連携してこのプログラムに関わったか」あるいは「関わらなかったか」、そういったことも含めて、しっかりと取り組んでいく必要があります。</p> <p>アウトカム評価については、いまから取り組んでいかなければだめだ。というお話でしたので、委員の皆さんと知恵を出し合って、これは一番難しいとは思いますが、考えていきたいものです。</p> <p>それからヤングケアラーのこともありましたが、柱をまたいだものも含めて、加えるということも事務局で検討していただければと思います。</p>
	<p><委員 挙手></p>
<p>委員</p>	<p>この柱の中に、身体障害者の関わる内容はどこに入っていますか。</p> <p>そういうものが書いていないように思うのですが、それはどうなっていますか。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。事務局いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>身体障害者の記載部分ですが、(資料 1 の) 2 ページのところです。</p> <p>「5 中途失明者展示講習会の開催回数」、身体障害ではないですが、「6 精神障害者社会復帰集団指導事業」について報告させていただいています。</p> <p>先ほどもデジタル化についての内容を入れてみてはどうかというご意見があり</p>

	<p>ました。</p> <p>今日いただきました貴重なご意見やご提案については、検討していく必要があると考えております。</p>
委員長	<p>はい。情報提供を含めて、障害のある方が、地域で様々な活動に主体となって参加できるのは大事なことです。</p> <p>何かご提案はございますか。</p>
委員	<p>私たちは、身体障害者福祉協議会の活動をしている者です。そういう者に対する目標とか、中に踏み込んでもらうようなものがないので、もうちょっと明確にしてほしいと思います。</p>
委員長	<p>宇治市の障害福祉計画とも、連携して地域福祉計画をしっかりと取り組んでいっていきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、時間の関係もございますので、またお気づきのことがございましたら、ご発言いただくとしまして、次の「3 地域福祉計画の実施状況について」へ移りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">◆次第3 地域福祉計画の実施状況について</p>
委員長	<p>「3 地域福祉計画の実施状況について」事務局から、ご説明願います。</p>
事務局	<p><資料2に沿って説明></p> <p><事務局 挙手></p>
委員長	<p>はい。お願いいたします。</p>
事務局	<p>少しだけ補足です。</p> <p>今回の資料は、前回いただきましたご意見について、現状はこうですということをお示ししているものになっています。現状を踏まえまして、広い視野でご意見、ご提案をいただければありがたいと思っています。</p> <p>来年度以降の取り組みとして検討していくことになりますので、広い視点でご意見いただければありがたいです。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>(「参考資料」を指して、) この「参考資料」は、どこで説明されますか。</p>
事務局	<p>この資料につきましては、御覧おきいただくということです。</p>
委員長	<p>そうですか。分かりました。</p> <p>それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問いただきたいと思います。</p>

<p>委員</p>	<p><委員、挙手></p> <p>度々すみません。</p> <p>先ほどご説明があったように、前回の地域福祉推進委員会で、私から提案させてもらった意見に対して、それぞれの所管課で、現状こうですというのは、そうなのだろうかと理解をしています。ただ、私が申し上げたいのは、やはり今後宇治市がどういう地域福祉計画で、どういう地域社会を目指すのかということなのですね。われわれはもっと勉強しないといけないと思っております、提案させていただきたいのが、鳥取市で、現在地域福祉計画に基づいて、様々な重層的な支援体制整備が行われているということを知っております。</p> <p>先日も人権福祉の室長さんから少しお話を伺ったのですが、鳥取市でやっているような内容が、鳥取市の人口が18万3000人くらいで、宇治市と人口規模がほぼ同じで、だいたい似たり寄ったりです。鳥取市が重層的な体制を整備して、やっている支援の内容は、私は宇治市にとっても非常に参考になるのではないかと思います。例えば「地域食堂」といういわゆるこども食堂に類した、地域の皆さんが集まって食べる場所を、鳥取市が独自で事業をやっておられます。市が実施しているのは全国で2か所です。</p> <p>石垣市と鳥取市の2か所だけらしいです。非常に先進的なことをやっておられます。地域食堂で実施しているいろいろな困りごとや相談を、拾い上げて施策に活かしていくとかということをやっておられるのです。私の提案は一度鳥取市へ行ってみませんか、と。いわゆる視察ですね。国が言っているような重層的な支援体制整備事業とは、具体的にどのようなイメージなのかというのは分かっていないと思うのです。先進事例を我々も学んで、その中で宇治市で活かせることがあれば活かしていけばいいのではないかと思います。</p> <p>そういう提案です。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>この重層的支援体制整備事業については、いくつかの自治体で取り組んでおりますが、鳥取市は、私と岡野委員もそうなのですが、知り合いの鳥取大学の教授が中心になってやっております。</p> <p>また、参考になることがあれば、皆さんに供したいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p><委員、挙手></p> <p>防災の関係で、お尋ねします。</p> <p>先般危機管理室が実施しました、リーダー研修会がやっとの間終わりました。</p> <p>大変厳しいことを言いますが、実態と現状を市は知らないと思います。私も地域で民生委員をさせていただいておりますので、相談件数が増えたりするのも、社協がされているお仕事についても（増えているのも。）先日民生委員の会議でも相談件数が増えている」ということでした。けれどもこれはコロナの関係で件数が増えたきたのであって、ずっとということではない。地域に居るのが、地域で地域の人が支えるということはきちりとやっていかなければならないと思います。防災の関係でも、（資料2を指して）ここにも槇島のことやらと書いてあるけれども、具体的に「どこに逃げればよいのか。」ということ。この前も、リーダーが言っていました。「宇治市で一番高いところはどこだ？」と。宇治市で一</p>

	<p>番高いところはどこかと言えば、小倉小学校しかないのです。南陵町や明星町を上がれば、逆に土砂崩れの可能性があります。やっぱり実態を把握した上で、実施してほしいと思います。今年の危機管理室のメンバーも変わりましたので、色々な形でやっていくと思います。(資料1の「1 安全・安心に暮らせるまちづくり」の「7 防災出前講座等の開催回数」を指して) ここにもあるように、57件から18件に減っていますが、来月の16日に公民館に、出前講座で来ていただけます。消費者講座も来てもらうことが決まっています。この間も(講座の申込を)頼みに行ってOKを貰っています。</p> <p>市でやっていただいていることに感謝をしつつ、地域に密着した活動を、今後もしやっていかないといけないと思います。</p> <p>こんな簡単にまとめていただくのはいいのですが、具体的にどの課が実施しているのかが分かるよう出して行かないと、私のようにどこへでも首を突っ込むものはある程度分かると思います。どこが担当しているか。私もやっとなどの課に行けばよいのかが分かるような状態です。きちっと書いていただいて、明確にしてくださいの方が(よいと思います)。評価の仕方ですが、委員長も言われましたように、効果がどのように上がったのかを含めてよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>地域のことは地域。これは大事なご指摘です。</p> <p><事務局 挙手></p>
<p>事務局</p>	<p>先ほどから色々ご質問いただく中で、お答えさせていただいたところで、少し補足をさせていただきたいと思っております。</p> <p>まずは、資料1に戻りますが、やはり見にくいところがあります。担当課は明記させていただき、事業によっては担当課からの目標値になっているものもありますので、「目標値等」とかいうことで、「他にもあるよ。」という表現で検討させていただきたいと思ひます。その担当課から目標値というのは出していただひています。担当課が責任を持ってこの事業を進めている中で、目標値なり、めやすとさせていただひている数値となっています。この数値は、すべて事務局が置ひている数値ではありませんので、そこはご理解をよろしくお願ひいたします。</p> <p>いままでやって来ました<推進のめやす>ですね。今回の資料1は、だいぶピックアップしているような見方になっていますが、これは代表といいますか、5本の柱の中でもとりわけ関連深い事業としてこちらでチョイスしている経過がありますので、ヤングケアラーやデジタル化、身体障害に係るような項目というのは、ずっと追いかけていく中での指標として加えていけるかどうか、現課も含めまして、検討を重ねて参りたいと思ひます。その結果はまたご報告させていただきたいと思ひます。</p> <p><推進のめやす>では、外部団体としては155事業、宇治市の事業としては127事業をさせていただいております。全部で280事業を見ていただひているのは、ずっと細かく見ていけば分かりやすいのですが、300弱の事業を一気に見ていただくのはあまりにも大変だと思ひていたところではあります。この<推進のめやす>自体を、このまま継続して、このまま300弱の事業を掲載するつもりはあまりなくて、<推進のめやす>は細かく載っていますので、形態、様式を変え</p>

	<p>たいとは思っています。もう少し見やすい様式を検討していきたいと考えております。＜推進のめやす＞と（資料1を指して）今回出させていただいている資料の2つをもって、第3期の地域福祉計画の進捗を委員の皆さまにお示ししていただけたらと考えております。＜推進のめやす＞の300弱の評価自体は、まだ現在検討中で、いまお示しできる状態ではありません。整いましたら、お示し出来たらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 一步一步前進してまいりますのでよろしくお願いいたしますと思います。 他にご意見はございますか。</p> <p>＜委員 挙手＞</p>
<p>委員</p>	<p>すみません、突然の質問ですが。 （「参考資料」の）「地域福祉推進のプログラムの具体的な取り組み（新旧表）」の25についてです。 「地域におけるソーシャルワークを担う福祉専門職の育成～」。これはどのような育成をされるのか。どのように配置をされていくのか。明らかになっているのかなということと、もうひとつは、「～見守りから課題の発見、関係機関との連携、情報共有の体制」ということで、総合相談というような視点、と読み込めるような包括的な支援体制にも繋がると思うのです。一方もう一つお伺いしたいのは、コミュニティオーガナイズングについてです。地域の自発的な活動について、どのようにマネジメントしていくような、構想というか、考えというか、整理だけでもよいので、教えていただけたらと思います。 よろしくよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>2つのことですね。後の方は回答が難しいかもしれませんが。 事務局はいかがでしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>参考資料の5ページですね。</p>
<p>委員長</p>	<p>参考資料の5ページです。 先ほど事務局がお目通しください、と言われていた資料です。 「地域におけるソーシャルワークを担う福祉専門職」これは、4つ目の柱の「地域での支援を必要としている様々な立場のニーズを把握し、～」というところで、なかなか相談機関に行けない方、しっかり意識化出来ない方がいらっしゃる。あるいはサービスを拒否する方もいらっしゃる。こちらから出向いていくアウトリーチによって、信頼関係を作っていく働きかけが非常に重要になってきます。 その辺りのことを、おそらく書いていらっしゃると思いますので、いわゆるコミュニティソーシャルワーカーが、制度の狭間、谷間にある人へのアプローチということだろうと思います。 ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>＜事務局 挙手＞</p>

事務局	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>「3 ゆるやかな支え合い」の部分だと思いますが、(25を指して)この件に関しては、関係課として7課記載させていただいております。この関係課としっかり連携していく中で、どのような施策が持っていけるのかということ、この計画の中で検討していけるかというのが現状でして、いま具体的にやっていける施策があるという紹介は大変申し訳ありませんが、持ち合わせていないのが現状です。</p> <p>地域の構想という大きな題目をいただきましたが、それも具体的なことは、これから12年間の第3期の計画の中で、皆さんのご意見も踏まえながら、しっかりと見据えて、地域の中でのよりよい支え合いがしっかりできるような取り組みに考えてやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>はい。後の方は、支援の市民、住民が力をつけていくというのが地域福祉の原点ですので、大きな理念として、押さえていきたいと思えます。</p> <p>他にいかがでしょうか。全体を通してでも構いません。</p> <p><委員 挙手></p> <p>委員、どうぞ。</p>
委員	<p>今回の資料ですが、手元に届くのが皆さん遅れていたと思います。</p> <p>当日貰われていた方もいらっしゃると思います。</p> <p>冒頭の資料の説明と、関係がきちっと、前段できっちりと説明して、膨大な資料を見てもらうよりも、簡単にまとめさせてもらったというのも、簡単すぎるのですが、もう少し資料の検討を原課と時間をもってやってもらって、私たちの手元にもraitたい。今回の資料も「今回どうなっていますか？」請求しました。事務局も忙しいと思うのですが、今後十分な論議が出来るような前向きな資料を作っていってほしいと思います。それだけ言わせてください。</p>
委員長	<p>どうぞ。厳しいご意見ですが、厳しく温かくということで受け止めさせていただきたいと思えます。</p> <p>委員長の立場で、あまり発言をしてはいけないのですが、ヤングケアラーのことが、ありました。</p> <p>ケアそのものは、家族が介護し合うというそのものは、決して悪いことではない。家事を手伝うということも決して悪いことではない。孤立していたり、負担が過重になっていたり、ヤングだけではなしに、ミドルも、オールドもそうなのですが。これまで光が当たらなかった子どもの問題に光を当てるといのは大事なことです。ケアというのが悪いことと捉えられているのであれば、それは間違いで、大切な家族の絆を作っていくものです。それを色々なサービスを活用して、孤立したものにしない、心が通うものにしていくことが、おそらく目標だと思います。</p> <p>ご説明いただいた自治会のことですが、これらは本当に(ここに)民生委員の方が何人もおられますが、私も自治会に関らせていただいている、ご高齢になら</p>

	<p>れた方が「辞めさせてください。」とおっしゃるのです。それから「役員が出来ません。」と。自治会町内会の課題は、どんどん加入者が抜けていかれることと、後継者の役員が見つからない。(資料2の8の「現状」を指して、)ここで、市民協働推進課がアンケートをしていますよ、ということになっているのですが、これはやっぱり、この問題に絞ってきっちりとアンケートを実施していただいて、この場にアンケートを出して共有化して、みなさんとこの問題を考えて、各町内会にまたバックしていきたい。「アンケートを実施しています」ということですが、ちっともオープンになっていませんので。少なくとも我々は知りません。令和元年度から(アンケートを)やっている。ついては、委員長の立場をはみ出してしまっているかもしれませんが、少しこの点は思いました。</p> <p>「地域のことは地域で」、「自治」「住民主体」、災害時の地域の避難計画がおそらくでこぼこはあるとは思いますが、各町内会でいろいろと立てておられます。そういうものの集約、知恵のフィードバック、知恵を分かち合うということもとても有効なことだろうと思いますので、危機管理室となっておりますが、地域福祉課が中心となって進めていただけたらと思います。</p> <p>委員長の立場を逸脱してしまいましたけれども。</p> <p>(他に)委員の皆さんいかがでしょうか。</p> <p>ございませんか。</p> <p>よろしでしょうか。</p> <p>また、ひきこもりの件数ですが、ほっこりスペース・あいだけが実施するという計画ではないと捉えてよろしいでしょうか。</p> <p>ほっこりスペース・あいだけに数値目標を置くというではないですね。</p> <p><事務局、異議なしの意思表示あり></p> <p>そういうことですから、ご安心ください。</p> <p>遠慮なさらず、ご発言ください。</p> <p><委員 挙手></p> <p>委員 資料1の(1ページ、「1.安全・安心に暮らせるまちづくり」の「4 スポーツ教室参加者数(ニュースポーツひろば)」の「R3年度(2021年度)」の)1,361人、(目標値で)1,500人となっていますが、具体的に我々がやっているボッチャなども含まれているのですか。</p> <p>事務局 いまおっしゃっていただいたボッチャ含めてのスポーツについての数字です。</p> <p>ボッチャも含めてです。</p> <p><事務局 挙手></p> <p>事務局 手元に詳しい資料がないので申し訳ございませんが、今年度から始まった第6</p>
--	---

	<p>次総合計画で文化スポーツ課で、新たにボッチャもニュースポーツに入れていくということで、今回からボッチャが入っています。</p> <p>その他フライングディスクとか、あまりまだ一般的に普及されていないような、新たなどなたでも手軽に取り組めるようなスポーツがメニューとして用意されています。そういった参加者の数が目標に掲げられているということです。</p>
委員長	<p>はい。もっとももっとご高齢の方、障害のある方でご高齢になられた方も参加できるメニューが増える。「誘いかけてほしい。誘いかけてもらえれば参加するのだけれども。」ということも耳にしますので、そういった地域の繋がりも活発にしていけたらと思います。</p>
	<p>(委員、に対して) よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>いまおっしゃっていただいたフライングディスクも入っていますか。</p>
	<p><事務局より、「含まれている」という意思表示あり></p>
委員長	<p>車椅子の方も出来ますものね。</p>
	<p>はい。他にはよろしいでしょうか。もう少し時間がありますが、なければ。</p>
	<p><意見がないことを確認></p>
	<p>はい、それではもし、お気づきのことがありましたら、メモの形で事務局に言っていただければと思います。</p>
	<p>次第に、今後のスケジュールが挙がっております。</p>
	<p>これにつきましてご説明ください。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールにつきまして、簡単にお話させていただきます。</p>
	<p>次第をご覧ください。</p>
	<p>令和4年度(2022年度)中は、庁内で調整を行い、今回いただいたご意見を基に、進捗方法の確立をしております。</p>
	<p>そして、令和5年度(2023年度)の第1回の地域福祉推進委員会にて評価方法をご報告させていただき、策定していきたいと考えております。</p>
	<p>以上です。</p>
委員長	<p>ということで、次回は年度が変わって春に開催されるということです。</p>
	<p>それまでに、本日いただいたご意見を踏まえまして、様々な調整をして、皆さまにお諮りさせていただきたいと思います。</p>
	<p>特に評価につきましては、一步一步です。</p> <p>優れた効果を上げている自治体もございます。鳥取市とおっしゃっていただきましたが、他にも全国的に評価されている自治体についても調査しつつ、皆さまと地域福祉の推進をしっかりと進めていきたいと思っております。あくまで住民自身が</p>

パワーを持っている、そこを肝にして進めていきたいと思います。

本日は貴重なご意見をたくさん賜りましたことを御礼申し上げまして、第2回の宇治市地域福祉推進委員会を終了させていただきます。

誠にありがとうございました。お疲れ様でした。

(終了)